

連合奈良の日(3月度)

3月7日、近鉄五位堂駅において「連合奈良の日」街宣行動を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大状況が好転しない中、ビラ・ティッシュの配布は行わず、三役・推薦議員による街頭宣伝のみとし、宣伝ビラは香芝地域に新聞折り込みを行いました。

中和地協からは高谷議長、瀧田・笠谷両副議長、推薦議員は尾崎充典県会議員、中村良路香芝市会議員、西村元秀大和高田市会議員が参加しました。

3月6日は、日本記念日協会に登録された「36(サブロク)の日」です。労働基準法第36条(時間外及び休日の労働)によって、時間外労働を行う際は、労働組合など労働者代表と会社との間で「時間外労働・休日に関する協定」(通称「36(サブロク)協定」)を結び、労働基準監督署に提出する必要があります。法定の労働時間は「1日8時間1週40時間」であり、「36協定」を結ばず残業や休日出勤をさせることはできません。こうしたルールを知ってもらい長時間労働や不払い残業などの撲滅を訴えました。

一方、2月24日に始まったロシアのウクライナへの侵攻によって、兵士だけでなく子どもを含む一般市民の悲惨な犠牲が連日報道されています。連合は軍事侵攻を厳しく非難するとともに、即時の作戦中止・撤退と核兵器反対・恒久平和を強く求め、3月3日、在日ロシ



連合奈良 中和地域協議会



ア連邦大使館へ「ウクライナへの軍事侵攻に対する抗議文」を送付しました。また、「即時の作戦中止・撤退と核兵器反対・恒久平和」を求め、アピールボードアクションを提起しています。これを受け、「NO WAR」「人々を守れ 平和と対話を」「核兵器を使うな」のボードを掲げて訴えを行いました。



2022

春闘総決起集会 3/4

3月4日、18時30分より「連合奈良 2022 春季生活闘争総決起集会」が WEB 開催されました。

西田一美会長は、挨拶の冒頭でロシアによるウクライナ侵攻を厳しく批判、ロシア軍の即時撤退を強く求め、戦争反対の意思を表明しました。

また、コロナ禍で3回目の春季生活闘争について「労働局、経済団体への要請行動も行ってきたが、経済基盤への影響は大きい。有期や非正規・派遣労働者をはじめ、働く者は厳しい現状にある。経済の原動力は『人の力』だ。中長期の適正配分で『人への投資』が必要だ。経済の安定のためには内需を拡大しGDPを拡大するためには人を育てることが大事だ。賃金・労働条件改善に向けた交渉協議の積み重ねによる健全な労使関係は企業にとっても必要だ。今年のテーマを『未来づくり春闘』とし、全力で闘いぬこう」と訴えました。

